

こころと痛みのカンファレンス

2023年 **9月7日 (木)** 18:30-20:00

対象：医師，歯科医師，歯科衛生士，看護師，理学療法士，作業療法士，
公認心理師，ソーシャルワーカー，薬剤師

**参加費
無料**

参加用サイトURL

慢性疼痛に関する最新知見を
ぜひこの機会と一緒に学びましょう

<https://zoom.us/j/6801584523>

司会：渡部 達範 先生(新潟大学医歯学総合病院 麻酔科 講師)

開会の挨拶

木村 慎二 先生 (新潟大学医歯学総合病院 リハビリテーション科 病院教授)

1. 症例提示 1 (18:30-18:45)

「対応に苦慮した慢性臀部痛患者の一例」

演者：松橋 麻里先生 (新潟県立中央病院 麻酔科)

コメンテーター：水野 泰行 先生 (関西医科大学 心療内科学講座 診療講師)

：福井 直樹 先生 (新潟大学医学部医学教育センター 准教授)

2. 症例提示 2 (18:45-19:00)

「長期に社会参加が困難であった身体症状症に対し

認知行動療法と運動療法を併用している一例」

演者：岩崎 円 先生 (新潟大学医歯学総合病院 総合リハセンター 理学療法士)

コメンテーター：水野 泰行 先生 (関西医科大学 心療内科学講座 診療講師)

：大鶴 直史 先生 (新潟医療福祉大学 リハビリテーション学部 教授)

3. 基調講演 (19:00-20:00)

「慢性疼痛を心療内科が診てみたら」

座長：傳田 定平 先生 (新潟市民病院 ペインクリニック外科)

講師：水野 泰行 先生

(関西医科大学 心療内科学講座 診療講師)

私は20年来心療内科をやってきて、少なくとも1000人以上の慢性疼痛患者を診てきた。その経験から慢性疼痛の治療の神髄は、信頼、見立て、動機づけの3つに集約されると考えている。そのために必要なのが患者への肯定的関心と想像力、共感力だろう。パターン認識と個別性をそれぞれ意識しながら、患者に合わせた介入を検討し、共有し、させてみて、微調整する。その繰り返して患者の人生における痛みの重要度を下げるのが治療である。

閉会の挨拶 内山 徹 先生(内山整形外科医院 院長)

お問い合わせ

新潟大学医歯学総合病院リハビリテーション科

ワーキンググループ長:木村 慎二

事務担当: 山本

〒951-8520 新潟市中央区旭町通1丁目754番地

TEL/ FAX 025-227-0369

E-mail: riha-ken@med.niigata-u.ac.jp